



平成31年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月11日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
 コード番号 2798 URL <http://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 平尾 健治

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	10,307	0.9	91		26		140	
30年2月期第3四半期	10,404	7.5	71		10		216	

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 159百万円 (%) 30年2月期第3四半期 217百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	52.86	
30年2月期第3四半期	81.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第3四半期	4,868	925	18.4	335.87
30年2月期	5,141	1,087	20.3	392.86

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 893百万円 30年2月期 1,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		0.00	0.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 2月期の連結業績予想(平成30年 3月 1日～平成31年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,913	0.4	43		153		2		0.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期3Q	2,660,900 株	30年2月期	2,660,900 株
期末自己株式数	31年2月期3Q	145 株	30年2月期	145 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期3Q	2,660,755 株	30年2月期3Q	2,660,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな景気回復基調にあるものの、海外の政治・経済情勢の不安定さが継続し、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。国内の個人消費には持ち直しの動きが見られるものの、外食に対する低価格志向は根強く継続しています。外食産業においては、食材価格の高騰、天候不順、人材不足や人材関連コストの上昇、消費者の節約志向やライフスタイルの変化などの影響から、業界内の環境は厳しさを増す状況にあります。このような状況の下、当社グループは、既存店の販売強化と店舗管理体制の見直しに加えて、カジュアルレストラングループにおける新業態の開発を推進してまいりました。当第3四半期連結累計期間におきましては、全社的な人件費の高騰に加えて、「XEX代官山」の閉店の影響、および新業態2店舗の開業コストを計上したこと等により、売上高は10,307百万円（前年同期比0.9%減少）、営業損失は91百万円（前年同期は営業損失71百万円）、経常利益は26百万円（前年同期は経常損失10百万円）となりました。なお、固定資産除却損36百万円、減損損失37百万円、法人税等調整額76百万円の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は140百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失216百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、インバウンド需要の増加や継続的な販売強化の推進により既存店の売上は概ね堅調に推移しましたが、一部店舗が低調に推移したことに加え、平成30年7月に「XEX代官山」を閉店した影響から、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。また、売上が好調に推移した既存店では収益性を大きく改善することができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は3,104百万円（前年同期比5.4%減少）、営業利益は126百万円（前年同期比9.1%増加）となりました。また、店舗数は直営店8店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、イタリアン業態での新たな出店はなく、サービスと料理の品質向上および人材育成に注力したことにより既存店の売上高及び営業利益が好調に推移した一方で、新業態の新規出店にかかる開業コストが増加した影響により、カジュアルレストラングループの営業利益は前年同期と比べ減益となりました。なお、新業態の展開を推進し、平成30年6月に「STEAK THE FIRST 高田馬場」を、同年7月に「庵 STEAK & SPICE」を出店いたしました。同年11月には、FC店「SALVATORE CUOMO & BAR 蒲田」を直営店舗化しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は7,193百万円（前年同期比1.1%増加）、営業利益は634百万円（同1.8%減少）となりました。また、店舗数は直営店48店舗、FC店46店舗となりました。

③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。当第3四半期連結累計期間の同グループの売上高は10百万円（前年同期比71.9%増加）、営業損失は22百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,284百万円となり、前連結会計年度末に比べ290百万円減少いたしました。これは主として、現金及び預金の減少408百万円、売掛金の増加78百万円等によるものです。固定資産は2,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円増加いたしました。これは主として、建物及び構築物の増加36百万円、のれんの減少32百万円、投資有価証券の増加48百万円、敷金及び保証金の増加35百万円、繰延税金資産の減少77百万円等によるものです。

この結果、総資産は4,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ273百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,251百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加64百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少27百万円、未払金の減少15百万円、未払法人税等の減少8百万円、株主優待引当金の減少21百万円、その他の増加36百万円等によるものです。固定負債は1,691百万円となり、前連結会計年度末に比べ154百万円減少いたしました。これは主として、長期借入金の減少60百万円、長期前受収益の減少60百万円、その他の減少23百万円等によるものです。

この結果、負債合計は3,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ111百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は925百万円となり、前連結会計年度末に比べ161百万円減少いたしました。これは主として、親会社に帰属する四半期純損失の計上140百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は18.4%（前連結会計年度末は20.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年10月12日の「平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,512,137	1,103,782
売掛金	589,863	667,993
原材料及び貯蔵品	188,418	216,252
繰延税金資産	111,240	111,707
その他	173,679	185,491
貸倒引当金	△532	△557
流動資産合計	2,574,806	2,284,669
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,456,415	1,492,431
工具、器具及び備品(純額)	159,173	162,008
リース資産(純額)	52,379	40,142
建設仮勘定	4,559	2,444
その他(純額)	23,627	37,776
有形固定資産合計	1,696,156	1,734,803
無形固定資産		
のれん	96,361	64,241
その他	35,174	36,372
無形固定資産合計	131,536	100,613
投資その他の資産		
投資有価証券	426	49,352
長期貸付金	10,186	7,800
敷金及び保証金	639,508	674,572
繰延税金資産	90,790	13,784
その他	15,780	19,679
貸倒引当金	△17,346	△16,977
投資その他の資産合計	739,346	748,211
固定資産合計	2,567,039	2,583,628
資産合計	5,141,845	4,868,298
負債の部		
流動負債		
買掛金	591,409	655,715
1年内返済予定の長期借入金	616,986	589,247
未払金	592,683	577,041
未払法人税等	34,043	25,983
ポイント引当金	19,512	26,618
株主優待引当金	62,079	40,891
資産除去債務	28,680	35,983
その他	263,693	300,075
流動負債合計	2,209,086	2,251,556
固定負債		
長期借入金	1,159,520	1,099,387
資産除去債務	475,028	464,937
長期前受収益	64,710	4,230
その他	146,264	122,505
固定負債合計	1,845,523	1,691,059
負債合計	4,054,609	3,942,616

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	900,653
利益剰余金	△618,986	△759,641
自己株式	△362	△362
株主資本合計	1,109,709	971,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101	79
為替換算調整勘定	△64,504	△77,447
その他の包括利益累計額合計	△64,403	△77,367
新株予約権	32,766	32,025
非支配株主持分	9,163	—
純資産合計	1,087,235	925,682
負債純資産合計	5,141,845	4,868,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	10,404,046	10,307,836
売上原価	8,634,576	8,516,991
売上総利益	1,769,470	1,790,845
販売費及び一般管理費	1,841,281	1,882,443
営業損失(△)	△71,811	△91,598
営業外収益		
受取利息	161	154
為替差益	—	8,543
協賛金収入	64,060	93,769
その他	17,968	33,266
営業外収益合計	82,189	135,734
営業外費用		
支払利息	15,862	13,550
為替差損	2,115	—
持分法による投資損失	—	1,043
その他	2,576	3,064
営業外費用合計	20,554	17,658
経常利益又は経常損失(△)	△10,175	26,476
特別利益		
新株予約権戻入益	2,668	—
特別利益合計	2,668	—
特別損失		
減損損失	81,410	37,219
関係会社清算損	68,785	—
固定資産除却損	—	36,828
特別損失合計	150,195	74,047
税金等調整前四半期純損失(△)	△157,703	△47,570
法人税、住民税及び事業税	38,696	24,406
法人税等調整額	22,722	76,548
法人税等合計	61,418	100,954
四半期純損失(△)	△219,121	△148,525
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,773	△7,869
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△216,348	△140,655

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)
四半期純損失(△)	△219,121	△148,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	△21
為替換算調整勘定	1,941	△10,907
その他の包括利益合計	1,969	△10,928
四半期包括利益	△217,151	△159,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△214,349	△151,522
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,801	△7,931

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,279,987	7,118,194	10,398,181	5,865	10,404,046	—	10,404,046
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,150	299	7,449	242,814	250,264	△250,264	—
計	3,287,137	7,118,493	10,405,630	248,679	10,654,310	△250,264	10,404,046
セグメント利益 又は損失(△)	116,169	646,524	762,694	△11,299	751,394	△823,205	△71,811

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△823,205千円には、セグメント間取引消去額1,850千円、各セグメントに配分していない全社費用△825,055千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「XEXグループ」セグメントにおいて47,706千円、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて33,704千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,104,149	7,193,605	10,297,754	10,082	10,307,836	—	10,307,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	31	4,438	4,470	329,538	334,008	△334,008	—
計	3,104,181	7,198,043	10,302,224	339,620	10,641,844	△334,008	10,307,836
セグメント利益 又は損失(△)	126,690	634,888	761,578	△22,461	739,117	△830,715	△91,598

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△830,715千円には、セグメント間取引消去額3,050千円、各セグメントに配分していない全社費用△833,765千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「カジュアルレストラングループ」セグメントにおいて22,802千円、共用資産である事業所設備について14,417千円の減損損失を計上しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。